

「ずっと安心 元気山口」



山口市長 伊藤 和貴

新年明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え、皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

さて、去年は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行し、人の移動や経済活動が急速に活発化し、市内に活気が戻りつつあることを実感した1年でした。

また、山口商工会議所におかれましては、物価高騰等の影響を受けた市内事業者の皆様への支援策の情報発信、経営改善に向けた経営相談など、きめ細やかな御対応をいただくとともに、市の更なる発展に向けて、本市とともに中心市街地の活性化、起業創業支援、中小企業の皆様の経営安定化や人材確保への支援などに取り組んでいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

あわせて、去年、山口商工会議所が立ち上げられた「レノファ山口FC応援プロジェクト」については、レノファ山口FCのJ1昇格に向け、市民一丸となった応援機運の醸成や観客動員数の増加など、本市の更なる交流と賑わい創出が期待されるところでございます。こうした取組につきましても、重ねて御礼を申し上げます。

このような中、迎える本年につきましては、第二次山口市総合計画後期基本計画の推進の方向性である「ずっと元気な山口」を目指した取組を進めてまいります。

まずは物価高騰等の影響から市民の皆様暮らしと地域経済を守るため、事業者や生活者の皆様へ、きめ細やかな支援を図り、同時に、大雨災害を始めとした災害に強いまちづくりの取組を力強く進めてまいります。

その上で、ずっと元気な農山村づくりといたしまして、人口減少が進む農山村エリアの活性化に向けて、農林水産業の振興、農山村での居住が進むような居住誘導の取組、交流拠点となる道の駅の移転整備・機能強化などの取組を進めてまいります。

次に、ずっと元気な県都づくりといたしまして、まず、小郡都市核づくりでは、更なる交流人口拡大による地域経済活性化を図るため、商工会議所を始めとした関係機関との連携のもと、市産業交流拠点施

設「KDDI維新ホール」等を活用したビジネス支援やMICE等の誘致、日本国際博覧会(大阪・関西万博)を見据えてのJR新山口駅を始めとしたJR山口線の更なる利用促進策など、新山口駅周辺の更なる発展を目指す取組を進めてまいります。また、山口都市核づくりでは、現在、建替えを進めている新本庁舎の周辺エリアを県都の顔としてふさわしい都市空間として形成していくとともに、大学を始めとした多くの高等教育機関が集積している本市の特性を生かした学都山口のまちづくり連携、中心商店街の更なる活性化に向けた取組、子どもや若者の新たな遊び場となる湯田温泉パークの令和6年度の供用開始に向けた整備などを進めてまいります。

こうした取組とあわせて、JRの大型観光キャンペーンであるDESTINATIONキャンペーンの誘致に向けた取組、観光産業の活性化に取り組んでまいりますとともに、中小企業の皆様の経営の安定化につながる支援、若者の地元雇用の促進や多様な働き方への対応支援、人材確保に向けた支援などを積極的に進めてまいります。

その上で、子育て世代から更に選ばれるまちに向けた環境づくりを始め、教育、医療・介護、交通、産業振興、環境などあらゆる分野におけるまちづくりの取組を着実に進めてまいります。

加えて、事業者や地域、市民の皆様の実現に向けたチャレンジを関係者や行政と連携しながら応援し、地域課題の解決や市民の皆様暮らしの質の向上、地域経済の活性化につなげてまいります。こうした考えのもとでのまちづくりを、人材育成(HX)やデジタル技術の活用(DX)、地域脱炭素の推進(GX)などの時代の流れを踏まえた事業展開のもとで進め、本市の持続的な発展につなげてまいります。

こうした取組を通じて、「ずっと元気な山口」の実現を目指すため、本年を今も未来も安心して暮らせる元気なまちづくりを進めてまいる年、すなわち「ずっと安心 元気山口」の年と位置づけ、経済界の皆様のご理解と御協力を賜りながら、素晴らしい1年となるよう着実に歩みを進めてまいります。

本年が、皆様にとりまして、幸多い年となりますことを祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。